

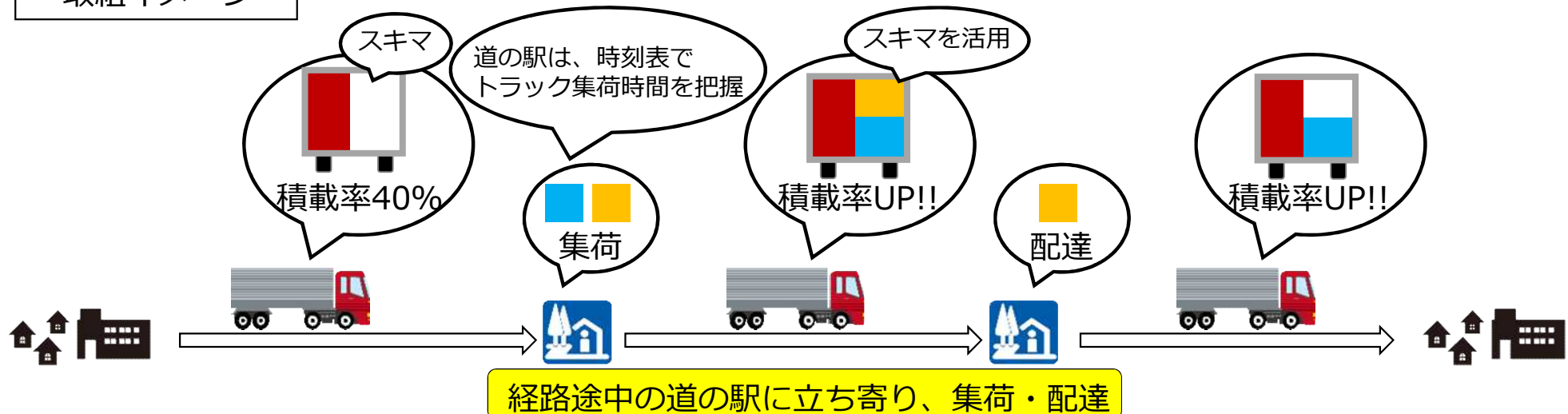
現状

- ・積み荷を10割積んで運搬するトラックは少ない
(ex.国道40号(稚内方面)を通るトラックの積み荷は2~4割程度)
- ・地方部では他の事業者と協力、提携して運搬している
(ex.足寄までの宅配事業者とその先の宅配事業者が連携し、運搬)
- ・トラックのほとんどは定時制であるが、実態(どの経路にどれだけ走行しているか)は把握できていない

今後の取組(案)

- ◎道の駅トラック時刻表の作成
- 道の駅間物流体系の構築
- 全ての道の駅を荷物取扱店化

取組イメージ



道の駅間物流ネットワークと宅配便ネットワークの上手な使い方を試行

○道の駅トラック時刻表

- ・トラック毎に配送経路と時間を把握

○道の駅間物流体系の構築（例）

- ・集荷の効率化
宅配事業者との提携により、道の駅を集荷拠点化
トラックは経路途中の道の駅に立ち寄り、集荷（スキマの活用）
- ・道の駅の物流拠点化
物流拠点（札幌や道の駅（名寄））へ荷物を集約し、さらに広域に運搬
- ・道の駅間の物流を活性化
集荷した荷物を他の道の駅へ運搬（経路途中に立ち寄り）
- ・さらに、道内・道外消費者への運搬
宅配便基地を介して全国へ運搬

■道の駅トラック時刻表（イメージ）

上り	A社	B社	C社	D社	...
稚内	00:00				
猿払	↓	00:00			
ピンネシリ	↓	00:00			
中川	00:00	↓			
音威子府	00:00	00:00			
美深	00:00	00:00			...
名寄	00:00	00:00	00:00		
宅配便基地（名寄）			↓	00:00	
...			↓	↓	
札幌			00:00	↓	
宅配便基地（札幌）				00:00	

■道の駅間物流イメージ図

